



北海道大学
医学部医学科

HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 医学部医学科

SCHOOL OF MEDICINE

学科案内 | 2025

CONTENTS

- 001 医学部長からのメッセージ
田中 伸哉
- 002 医学科イベントカレンダー
- 003-004 コースマップ
- 005 医学教養コース
- 006 基礎医学コース
- 007 臨床医学コース
- 008 臨床実習コース
- 009 海外実習
- 010 クラブ・サークル活動
- 011-012 卒業後の進路
- 013-014 大学院特別プログラム
 - MD-PhDコース
 - CLARCプログラム



北海道大学 医学部長
たなか しんや
田中 伸哉

北海道大学医学部は、1919年に北海道帝国大学医学部として創立された我が国でも有数の歴史と伝統を誇る医学部です。北海道大学の開学は1876年に開講した札幌農学校に遡りますが、1918年には北海道帝国大学に発展し、その翌年に医学部が設置されました。医学部からはこれまでに1万名以上の卒業生が巣立ち、医療や医学研究の分野で活躍しています。

北海道大学医学部医学科では、「広範な医学知識、高い倫理観、豊かな人間性、国際的視野を備え、医学の進歩と医療の実践・発展に寄与する医師・医学研究者を養成すること」を、教育目標として掲げています。この目的のもとで育つ人材には、基本的な医学知識、専門知識を幅広く有し、深い思考力と批判力、応用力、創造力、さらには国際的対応能力を身につけることが求められます。国内における医療貢献のみならず、グローバルな視野、献身的精神を有し、広く国内外で活躍できる医師です。医学研究におけるイノベーションの担い手となることも期待されています。

医学部生は、文系科目を含む幅広い教養、すなわちリベラルアーツを身につけることで、豊かな人間性を築くことが求められます。様々な人々から成る社会や文化を理解し、自主性と協調性を持ち、リーダーシップを発揮して行動することが必要です。また世界を対象にしたコミュニケーション手段として英語などの外国語の能力も必要です。

北海道大学では、医学教育のみならず、幅広く教養を学習できる教育環境が整備されていますので、1年次を中心に多くの自然科学、人文科学に触れて下さい。医学教育では、診療参加型臨床実習を強化しています。実際の医療現場で診療チームの一員として診療業務の義務や責任を理解し、医師として必要な専門的な知識、診断力、医療的技術を学びます。また近年、アジアやヨーロッパ諸国から外国人留学生を多く受け入れており、身近に留学生とともに学ぶ教育環境を提供しています。医学科学生の海外派遣も推進しており、毎年10名前後の学生が海外の大学の医療現場で実習を行っています。北大の医学部生は若い時期から国際的視野をもち、協調性を有し、多様な文化・社会性を吸収するグローバルな人材として育つことが期待されます。本学では課外活動も盛んです。全学あるいは医学部の様々なクラブで心身を鍛える、芸術に打ち込むことも将来の優れた医師、医学研究者になる糧となることでしょう。近年ではAIが医学の多くの分野で急速に導入されつつあります。学生時代にAIと医学についての正しい知識、リテラシーを身に付けることも重要です。

北海道大学は、200万都市である札幌市の中心に位置し、自然に恵まれた広大で豊かなキャンパスを有しています。皆さんが、恵まれたこの環境で勉学に励み、将来の宝となる友人、先輩、後輩そして師と出会い、医学・医療の進歩に貢献する創造性豊かで高い倫理観を有した医師・医学研究者になることを心から願います。北海道大学医学部医学科は、医の学びを通して自己の成長を成し遂げ、自ら設定した高邁な目標と理想(Lofty ambition)を目指す学生諸君を歓迎します。

EVENTS CALENDAR

月

4

● 懇話会



● 入学式

6



● 医学展(北大祭)

北海道大学祭期間中、学生主催で講演会・講習会や展示、検査体験や応急処置体験などを行い、医学生の日頃の学修成果を、市民の方々に見ていただく機会でもあります。

8

オープンキャンパス

一般市民・高校生を対象として毎年8月に行われています。北海道大学に実際に来て・見て・体験してもらうために、各学部でさまざまなプログラムが用意されています。自由参加プログラムのほか、高校生限定プログラム(体験講義)があります。



9

● フラテ祭

同窓生や学生父母、関連企業・医療関係者など日頃から支援いただいている方々と医学部との親睦を深めることを目的に、2007年度から実施。日頃公開されていない施設を見学するキャンパスツアーや医学部の先生などによる講演会・交歓会などを開催しています。

10



● 懇話会

順調で有意義な学業生活に資することを目的に、学生と教員が親しく懇談する場を設けています。1年次、2年次、4年次に開催します。

3



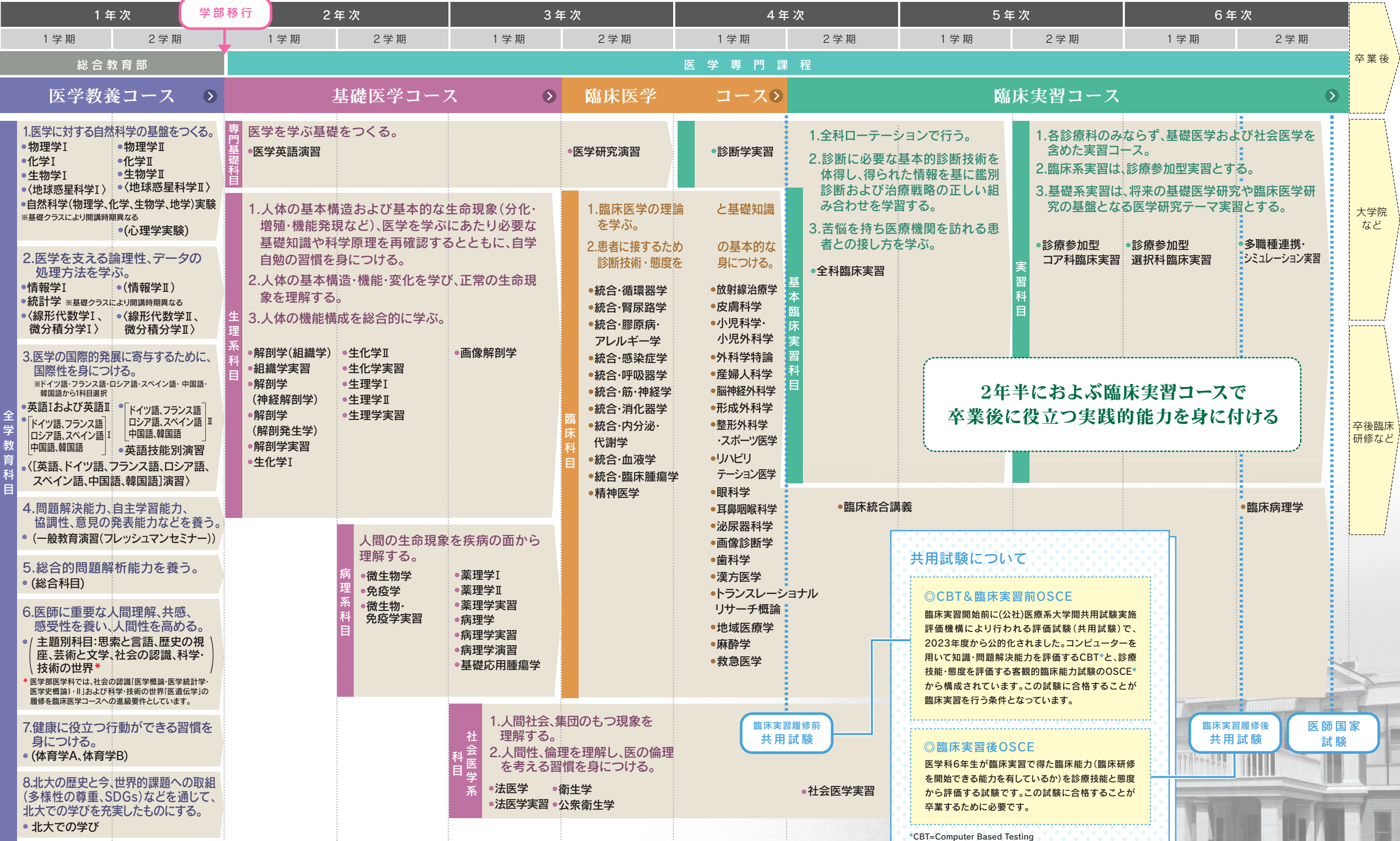
● 学士学位記伝達式(卒業式)

コースマップ

(このカリキュラムは、2025年度入学者のものです)

◎コースごとに定められた全科目の単位を修得し、次のコースに進級します

医学科の6年間は、広汎かつ複雑な医学について全般的に学ぶオリエンテーションの期間。卒業後続いて行われる臨床研修や基礎医学を含む専門領域の研修・研究につながる、医学の基本的な知識と思考方法を身につけるためのカリキュラムが組まれています。



[全学教育科目] < : 選択必修科目 () : 選択科目

医学教養コース

全学教育科目
※総合教育部に配属となります

豊かな人間性を磨き、
生涯医学徒であるための土台をつくります



主題別科目 科学・技術の世界
「医遺伝学」

コースの特色

医学は自然科学の一分野ですが、医師には多様な価値観を持つ患者さんやその家族と向かい合う幅広い人間性と豊かな人間愛が求められます。これは「医学は文系である」ともいわれる所以でもあります。入学してからの1年は、総合教育部に配属されます。他の理系学部との学生と一緒に多くの教養科目を共に学習することで、幅広い視野と豊かな人間関係を育むなど、人間性を磨き、生涯医学徒であるための土台を

つくる大切な時期です。

一見、医学と無関係に思えるような文系の科目、医学以外の理系科目の履修が、後に医学研究や医療を行う場面での豊かな発想力、創造性、広い視点の原動力となります。

EVENT



新生ガイダンス

4月に行われる「全体ガイダンス」では、授業科目の履修方法や大学生活に関する説明があります。「新入生医学部医学科ガイダンス」では、医学科の沿革、6年間のカリキュラムの説明等があります。



全学教育科目の授業は、医学部近く的高等教育推進機構で行われます。

医学科生からのメッセージ

医学を起点に自由度、無限大

医学教養コースは、医学を志す学生にとって理想的な学びの場です。このコース最大の魅力はその自由度の高さにあり、総合大学としての利点を活かして、医学部生も他学部の学生と共に医学以外の広範囲にわたる講義や活動に参加することが可能です。例えば、私自身も国際医学学生連盟(IFMSA)に参加し、語学のスキル向上を目指しつつ、研究室でプログラミングを学び、国境なき医師団でのボランティア活動にも携わりました。これらの多様な活動が、医学部の枠を超えて新たな学び、成長、そして自分の夢の発見の機会を提供してくれています。

さらに、医学教養コースでは医学の基本知識が深く身につきます。ここで学ぶ医学概論は、臨床や研究に直結し、上級学年になっても繰り返し役立つ内容です。授業は実践的かつ入門的で、医学の基礎をしっかりと理解することができます。

このコースは専門知識の習得だけに留まらず、個々の学生が自らの興味に従って自由に探求することができるため、予想もしなかった自分自身の可能性を広げる機会を提供してくれています。想像もしなかった自分自身を発見し、魅力的な仲間や先生との出会いの場ともなります。

この自由な環境を活用すれば、医学を起点に無限の可能性を探求し、自己成長と自己発見の機会を広げることが可能です。皆さんも、仲間と共に切磋琢磨しながら、充実したキャンパスライフを楽しんでください！

加賀谷 崇さん [4年生]
大阪府立東高等学校(大阪府)卒業



基礎医学コース

| 専門基礎科目 | 生理系科目 |
| 病理系科目 | 社会医学系科目 |

人体の基本構造を学び、
医学の基礎を培います



3年次 薬理学I

コースの特色

病気は正常の変化したものと捉えられ、病気の理解は正常の理解に支えられます。

このコースは、2年次1学期から3年次1学期までの1年半に及びます。まず、人体の正常な構造と機能を学び(解剖学、組織学、画像解剖学、生理学)、生命現象を分子・遺伝子レベルから理解します(生化学、薬理学)。また、正常から病気に至る基本的プロセスを学びます(微生物学、

免疫学、病理学、基礎応用腫瘍学)。

さらに、人間の健康や病気について、人間集団の相互作用、環境問題、社会制度、予防などの観点からアプローチする社会医学系の科目も学びます(衛生学、公衆衛生学、法医学)。

なお、基礎医学コースから始まる医学専門科目は全科目必修であり、時間割も濃密です。

EVENT



2年次学生会話会

4月初旬に基礎医学コース(2年次)進級ガイダンスがあります。医学部長の講話や医学専門課程に関するガイダンスののち、学生会話会が催されます。



病理学の実習風景

医学科生からのメッセージ

医学・医療との関わり方を考える

2年次からは「基礎医学コース」が始まります。皆さんが自分の将来を決めるためのきっかけを与えてくれる大切な期間になるでしょう。本コースでは、ミクロからマクロに及ぶ様々な視点で医学を学ぶことができます。前半は、医学部の醍醐味でもある解剖学から始まり、組織学や生化学、生理学などを通して正常な人体について学びます。後半では、微生物学、免疫学、病理学で正常から病気に至るプロセスを学ぶとともに、薬理学を通して病気の治療に触れることで、臨床医学へつながる知識を深めていきます。これらの学問を最新の研究とともに学ぶことができるのも本コースの大きな特徴です。

また、医師になる上で、「医学」だけでなく、「医療」を学ぶことも重要です。衛生学や公衆衛生学、法医学では、社会と医療の多様な接点や課題を学ぶことができます。さらに、授業だけでは物足りない人は、各分野の研究室で研究に携わることもできます。実際、この期間から研究室に所属する人も多います。学会発表など貴重な経験ができるチャンスもあります。

約1年半に及ぶ基礎医学コースは、「自分が将来どのように医学・医療に携わるか」をより具体的に考え始めることができる重要な期間です。臨床医として働くのか、基礎研究に携わるのか、行政や地域医療に従事するのか、選択肢は無限にあります。ぜひ、自分の興味を見つけ、積極的に学びきっかけを掴んでもらいたいです。

宮本 裕也さん [6年生]
清風南海高等学校(大阪府)卒業



臨床医学コース

| 専門基礎科目 | 臨床科目 | 基本臨床実習科目 |

医療現場への第一歩、
臨床医学の基本を学びます



4年次 放射線治療学

コースの特色

ここでは、さまざまな疾病について勉強します。
疾病を多面的に把握し、内科学、外科学、専門医学などの臨床医学の基本を学びます。
患者さんを感情のある人間として理解したうえで、その病態、病状検査所見、診断、治療の基本を身につけます。これは次のコースで、実際の患者さんに接する「臨床実習」においてとても大事なステップになります。

臨床医学コースでは、医学研究の入門となる医学研究演習を1カ月行い

ます。ここでは、学生が研究室に配属され、実験の方法や考え方を学ぶことで、将来の基礎医学研究者や研究医となるための素養を磨きます。
このコースの最後には、コンピューターによる知識や理解度を測るCBT、さらに医療面接(病歴聴取)や診察などの技能を測る実技試験「臨床実習前OSCE(Pre-CC OSCE)」の二つの全国共通の共用試験があり、これに合格して臨床実習に進むことになります。

EVENT



日頃の勉強の成果を発揮「医学展」

毎年、北大祭の期間中に行われる医学展では、4年生などが企画部門長となって救急対応などの指導や“妊婦さん体験・車いす体験”などを一般市民向けに行っています。



4年次 泌尿器科学

医学科生からのメッセージ

可能性を広げる、実習前の学び

臨床医学コースでは、3年次2学期から4年次1学期にかけて、これまでに学んだことを生かし、各診療科の先生方から直接病気の診断や治療を学びます。講義スケジュールが規則的であるため、臨床医学の勉強を行いつつ、全国から集まった仲間日々刺激を受けながら、特に3年次2学期を中心として課外活動に打ち込むことができる時期でもあります。北大医学部生は課外活動として部活動や学生団体、アルバイト、研究活動、ボランティア、留学など、一人ひとりがそれぞれの興味や価値観に基づいて異なることに挑戦しており、各人がそれぞれの方向に進んでいることを自然なことだとする風潮があるのが魅力だと思います。

また、3年次の冬には、学生全員が基礎医学系研究室で1カ月間医学研究演習を行い、医学研究に触れる機会があります。

4年次の夏には、それまでの知識の集大成としてCBT(computer based testing)を受けます。さらに、診断学実習で医療面接や診察のしかたを学び、学生同士で練習をし合ってから実技試験OSCE(objective structured clinical examination)を受け、臨床実習に備えます。

大西 志の歩さん [6年生]
北海道釧路湖陵高等学校(北海道)卒業



臨床実習コース

| 社会医学系科目 | 基本臨床実習科目 | 臨床科目 |
| 実習科目 |

これまで学んできたことを
具体的かつ実践的に身につけます



6年次 診療参加型選択科臨床実習

コースの特色

このコースでは、臨床実習が開始されます。
4年次の2学期からは北大病院で診療科を回り、病院という臨床の現場で患者さんと医療スタッフに接しながら、これまで各コースで学んできたことを具体的かつ実践的に身につけていきます。この実習と並行して、実習で認識した課題や疑問点について、臨床統合講義で振り返り、総合的な診療能力の基本を幅広く学びます。社会医学の実習も、この時期に行います。
続く5年次2学期の6カ月間は、大学病院や学外の医療機関で4週間にわたる長期の診療参加型コア科臨床実習を6回行います。
6年次1学期には、一つの診療科や教室あたり4週間にわたる長期の診療参加型選択科臨床実習を3回行います。
臨床実習コースの仕上げとして、臨床病理学の講義や多職種連携・シミュレーション実習も行います。これらにより、卒業後に役立つ実践的能力も身につけることができます。

このコースの終盤には、卒業試験の一環として全国共通共用試験「臨床実習後 OSCE(Post-CC OSCE)」が行われ、臨床技能・態度が評価されます。その後実施される医師国家試験に合格して晴れて医師になります。
医学科の専門教育では、すべてが必須科目となっています。これも他系学部と合わせて異なるところです。これは患者の生命をあずかる医師に対する社会的要請によるものです。したがって、学部教育中にはすべての科目を学び、医師としての基本を身につけることになります。濃密な履修には、このような理由があります。

EVENT



6年間の学修を経て、いざ学士学位記伝達式

6年間の学修を経て、充実感いっぱい迎える卒業式です。ここから医療機関や大学、研究機関等へと羽ばたいていくことになります。



全科臨床実習：脳神経内科 電気生理学実習の様子
このように、各診療科に応じた専門性の高い実習も行われます。

医学科生からのメッセージ

臨床実習での学び

北海道大学医学部医学科の臨床実習コースでは、実際の医療現場での学びが本格的に始まります。これまでの座学中心の生活とは一変し、実際に医療現場に入り、患者さんと接する中で多くのことを学んでいきます。
実習では、患者さんの協力のもと、問診や身体診察の進め方、カルテの記録方法、診断・治療方針の考え方、さらに症例発表の仕方など医師として必要な基本的スキルも身につけていきます。教科書で何度も読んだ疾患も、実際にその病気で困っている人を目の前にすると、理解の深さがまるで違います。机の上だけではわからなかったことが、目の前の現場で一気につながっていく感覚はとても新鮮です。
学生は全部で28ある診療科を1週間ずつ回ります。それぞれの科の雰囲気や役割を肌で感じる事ができ、自分が将来どの分野に進みたいのかを考える大きなヒントにもなります。北海道という土地ならではの地域医療に触れられるのも、この大学ならではの魅力です。
受験勉強は大変なことも多いと思います。ですが、その先には、実際の医療の現場で学べる充実した日々が待っています。同じ場所で学べる日が来たら、一緒に頑張りましょう。

岩切 菜々子さん [5年生]
北海道札幌南高等学校(北海道)卒業





海外実習

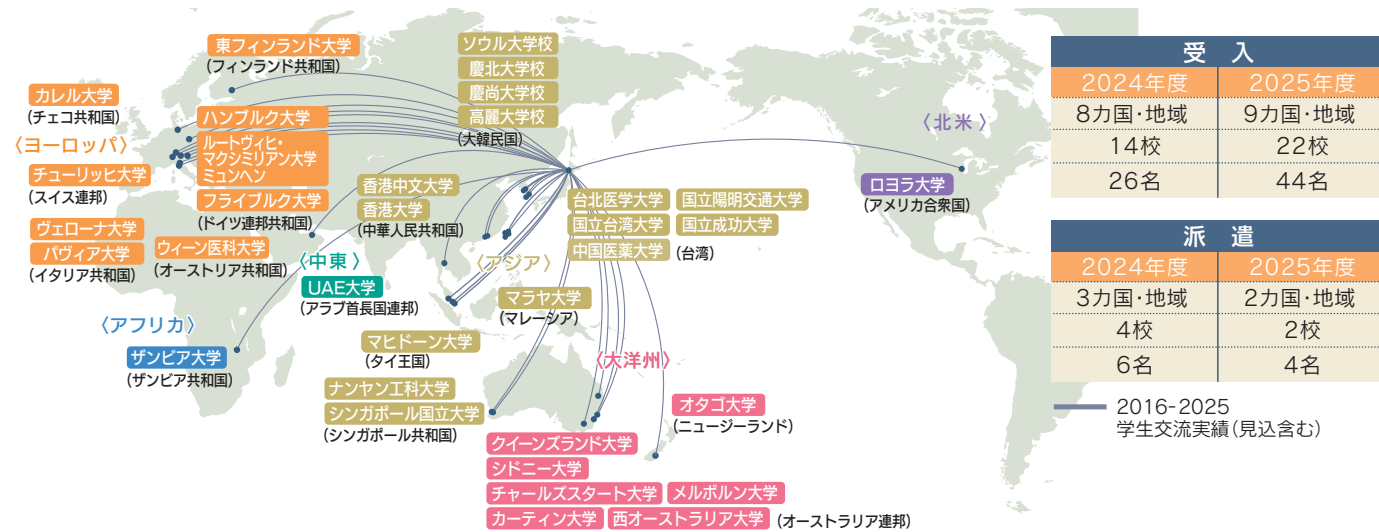
グローバルな舞台に挑戦し活躍できる人材の育成

本学医学部では、国際的なプレゼンスを高めることを目指して、若い世代の内向き志向を克服し、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成に取り組んでいます。海外の大学および研究機関とのパートナーシップを基盤に最先端の技術と知識を共有し、時代のニーズにあった質の高い教育を提供できるよう、さまざまな活動を行っています。

その活動の柱として、医学生の短期海外臨床実習が挙げられます。所定の成績要件を充足し選抜された学生には、6年次の臨床実習の一部を海外での実習に充てる機会が与えられます。本学医学部基金から奨学金として旅費・滞在費の一部を支給して支援しています。2024年度は、海外での臨床実習を希望した6名の学生をシンガポール国立大学、ナンヤン工科大学、ハンブルク大学へ派遣し、世界9カ国・17大学から医学生を受け入れ、臨床実習が行われました。

コロナ禍の影響で2020年度以降、海外協定校との留学生の派遣・受入の一時休止を余儀なくされましたが、この休止期間を活用して、コロナ禍でも国際交流活動を安全かつ確実に実施できるよう、派遣・受入プログラムの見直しや危機管理体制の整備をすすめ、2023年度以降本学6年次学生の海外への派遣と、海外協定校からの留学生の臨床実習受け入れを段階的に再開致しました(下図参照)。今後、社会的情勢を見極めながら、世界規模で国際交流活動を推進してゆく予定です。

● 北海道大学医学部医学科の国際交流(受入・派遣)実績 2025年4月1日現在



海外実習経験者

海外臨床実習に参加して

私は医学部1年次に参加した海外臨床実習報告会にて、留学中の体験を生き生きとプレゼンテーションする先輩方の姿に憧れを抱き、自分も海外臨床実習に参加したいと強く思うようになりました。新型コロナウイルス蔓延により現地渡航の海外実習は3年間実施が見送られましたが、最終学年である6年次に無事再開され応募しました。

私はシンガポールに渡航し、女性と子供のヘルスケアに特化した病床数830床のマンモス病院で、産婦人科と小児科それぞれ2週間ずつ実習しました。実習を通して一番感じたことは、シンガポールの医学生との実践力の差です。シンガポールの医学生は、自ら患者に問診・診察を行い、鑑別診断や今後の方針を検討した上で、上級医に完璧なcase presentationをし、主体的に診療に参加していました。一方、私は英語力不足に加えて、臨床知識や診察技術も圧倒的に足りず、対等にディスカッションすることはできませんでした。まさに、井の中の蛙が大海に出たことで、自らの未熟さに気づき、成長の機会を得ることができたと思います。世界に目を向けることは、自分や日本の立ち位置を客観的に把握し、広い視野の中で進むべき方向性を見定め、最終的には自らの成長と医療全体の発展に繋がると感じています。

北海道大学は新渡戸カレッジや協定校との交換留学など、国際交流の機会が豊富に用意されており、実際に卒業後世界へはばたき活躍されている先輩方も多くいらっしゃいます。将来国際的に活躍したいと考えている受験生の皆様には様々な刺激を得られる最高の環境になると思います。ぜひ皆さんも北大医学部から海外への扉を開けてみませんか？



小児科の指導医と記念撮影



婦人科手術室にて指導医の先生方と記念撮影



手稲溪仁会病院
初期研修2年目
江端 美織さん

CLUB ACTIVITIES

クラブ・サークル活動

日々の勉強に忙しい医学部ですが、医学部内には公認サークル(公認学生団体)があり、それぞれのびのびと活動しています。気のおけない仲間とのコミュニケーション、そして学年を超えたつながりは、より充実したキャンパスライフを実感させてくれるでしょう。

※2025年4月1日現在(休部を除く)



Sports

- 硬式庭球部
● ソフトテニス部
● 準硬式野球部
● 卓球部
● バスケットボール部
● サッカー部
● 羽球部
● フラテ山の会
● アイスホッケー部
● 学生会スキー部
● 剣道部
● 漕艇部
● 水泳部
● ハンドボール部
● バレーボール部
● ゴルフ部
● 弓道部
● 医歯薬陸上部



硬式庭球部



バスケットボール部



アイスホッケー部



ハンドボール部



ソフトテニス部



サッカー部



学生会スキー部



バレーボール部



準硬式野球部



羽球部



剣道部



ゴルフ部



卓球部



フラテ山の会



漕艇部



弓道部



卓球部



フラテ山の会



水泳部



医歯薬陸上部



Culture

- フラテ編集部
● 東洋医学研究会
● IFMSA(国際医学生連盟)
● アンサンブル・フラテ
● 軽音楽部
● 医学部起業部



フラテ編集部



IFMSA(国際医学生連盟)



軽音楽部



東洋医学研究会



アンサンブル・フラテ



医学部起業部

医学科卒業後の進路は大きく分けて三つあります。卒業までに進路を選択し、進路に応じた学習が始まります。卒後10年間は基本的学習が続き、その領域をリードしていくための学習は一生続きます。

1 臨床医・専門医へ

卒業生の多くが目指すのはやはり臨床医や専門医です。一般的には大学病院などの指導体制が整った病院で研修、診療、研究を行い、高度な専門的技能や能力を磨いていきます。専門医の資格を取得し、さらに大学院に進学してすぐれた臨床研究を行い「医学博士」となることが望めます。

2 医学研究者・教育研究指導者へ

先進各国における生命科学研究の主要な担い手は、医学研究院・医学部医学科の研究者です。医学科卒業後は大学院に進学し、専門的技術や能力の基盤を築きます。研究者・教育研究指導者にとって「医学博士」となるのはその最初の通過点です。医学科在学時から大学院博士課程の科目を履修できるMD-PhDコース(解説p.13)の選択を推奨しています。

3 専門職へ

公衆衛生、国際保健、医療行政などで活躍する専門職です。エイズや人獣共通感染症など、国境を越えて広がる新たな疾患に対する疫学調査や予防への取り組み、また医療保険制度など医学医療制度を研究し、施策を提言します。2と同様に、卒業後は大学院へ進学し「医学博士」となることがその第一歩であり、MD-PhDコースの選択を推奨しています。

履修モデル



※1 初期臨床研修を修了していなければ診療に従事することはできません(医師法第16条)。

※2 新専門医制度(2018年4月開始)による専門研修専攻例。研修の期間・内容は、基本領域(内科や外科など19領域)ごとに定められた専門研修プログラムにより異なります。専門医になるためには専門研修を修了する必要があります。

★専門研修最終年に博士課程の履修を開始する例

教員からのメッセージ

未来医療の最前線に挑むなら北大医学部医学科へ！

北海道大学は、人口約200万の都市・札幌の中心に位置し、広大で自然豊かなキャンパスを擁しながら札幌駅から徒歩圏内にあります。医学部医学科をはじめ、さまざまな学部・大学院・研究施設がこのキャンパスに集っており、分野横断的な学びと交流が盛んです。

北大医学部医学科は、2019年に創立100周年を迎えた、日本有数の歴史と伝統を誇る医学部です。次の100年に向けて、私たちは今も挑戦を続けています。

近年、ゲノム解析技術の発展により、遺伝子治療や核酸医療、抗体医療といった分子レベルの治療法が進化しています。さらに、再生医療による組織・臓器の再建、AIによる診断支援や治療最適化など、医療はかつてないスピードで進歩を遂げています。私たち北大も、こうした最先端医療の研究・開発において中心的な役割を担っています。

しかし、どれだけ技術が進歩しても、それを使いこなす、患者に寄り添うのは「人」であることに変わりありません。北大医学部医学科は、「世界をリードする先進的医学研究を推進し、高い倫理観と豊かな人間性を有する医学研究者・医療人を育てることにより、人類の健康と福祉に貢献する」ことを理念としています。

さらに北海道大学は、2026年に創基150周年を迎えます。将来構想「HU VISION 2030」では、教育・研究の卓越性であるExcellenceと、教育・研究を社会に展開するExtensionの2つの柱があり、北大医学部においても先進的な教育・研究に加えて社会実装・社会貢献を強く意識しています。

医療は今後、ますますグローバル化・多様化・高度化していきます。そのような時代において、みなさん一人ひとりが、学びを止めることなく、世界と連携し、未来社会に貢献できる医師・医学研究者へと成長することを心から願っています。

私たちは、みなさんの未来が輝かしいものとなるよう、全力でサポートしていきます。みなさんの入学を、心よりお待ちしております。



工藤 與亮先生

医学部医学科教務委員会委員長
(画像診断学教室)

臨床研修医からのメッセージ



大田 知慧さん

北海道大学病院
初期臨床研修医

北大医学部から将来を拓く

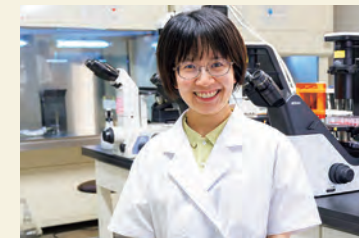
北大の教養はやはり総合大学ならではの、自分の興味に応じて医学のみにとどまらない学びを得ることができます。4年目以降は全科をローテーションしてからより長期の配属先として学内/学外の各診療科を選択するため、将来について具体的にイメージしながら実習を進めていくことが可能です。特に1カ月単位の地方病院での実習は、非常に良い経験になります。

また、様々な教室で外科手技のハンズオンセミナーや内科診療についてのレクチャーが定期的に開催されています。学生から研修医まで、やる気さえあれば実践的な内容を身につけられる環境が整っています。

卒業後の進路について、私は北大病院の初期研修プログラム(たすきがけコース)を選択しました。希望の市中病院、北大病院で1年ずつ研修するため、common diseaseの診療と、志望科と関係の深い領域を中心に、より専門的かつ高度な診療の両方を経験することができます。将来は循環器内科医として、広い視野を持ちつつ北海道の医療にも貢献していきたいと考えています。

各分野の最先端で研究、臨床を牽引する先生方がいらっしゃる一方、誰でも温かく受け入れるオープンな雰囲気が北大医学部の一番の魅力だと思います。皆さんもぜひ、この自然豊かなキャンパスで、医師への一歩を踏み出しましょう！

大学院生からのメッセージ



片山 優子さん

大学院医学院博士課程2年
統合病理学教室

大学院で濃い時間を

私は2020年に北海道大学医学部を卒業しました。市中病院で初期研修を行い病理診断科に進むことを決め、2年間の専門研修ののち、2024年に研修と並行して大学院博士課程へ進学しました。

私が所属する統合病理学教室の研究テーマに、炎症とがんの関わりがあります。炎症に関連する分子から、消化器がんの進展に影響を与えるものを発見すべく、遺伝子のノックダウン、過剰発現を通して実験を進めています。大学院で病理学を学び直してみると、臨床現場で病理診断に携わった経験が生きる一方で、疾患の本質が基礎医学そのものであることに気付く瞬間もあり、新鮮な気持ちを感じています。また教員の先生方は、研究環境を整えることにも熱心で、学生の意欲に応じて指導してくださいます。

私生活では、博士課程1年目の冬に第1子を出産し母となりました。指導教員の先生方はもちろん、大学院生の先輩や技術職員・事務の方、他研究室の先生方など皆様にお気遣い頂き、健康に過ごせています。子育て、大学院での研究、病理医としてのキャリアを両立させたいと考え、奮闘しているところです。

当大学院での生活は、人生の中で貴重な濃い時間になると思います。ぜひ一度研究室見学へいらしてください。

大学院特別プログラム 医学研究者、研究志向型医師を目指す方へ

医学部医学科在学時に選択できる大学院の二つのプログラムを紹介します。

一步早く

基礎研究者へ

研究者養成プログラム
(MD-PhDコース)

医学研究を志向する医学科学生に対し、早期に研究の機会にふれ、医学・医療の急速な進歩と社会情勢の変化に対応できる若手研究者(基礎医学分野)を養成することを目的としたこのコースは、**医学科6年次に在籍してそのカリキュラムを履修しながら、大学院博士課程必修科目(共通コア科目8単位)および大学院共通授業科目(2単位まで)を履修することができます。**

医学科5年次・6年次に(特別)選考が実施され、原則として返還の必要のない奨学金(大学院博士課程の入学校定料、入学科および大学院入学後計3年間の授業料相当分、所属教室には6年次の履修に係る経費の助成を目的とした支援金)が給付されます。

特 徴

- 医学部卒業年度は同期生と一緒に(医師国家試験受験可能)
- 入学科・授業料相当分の奨学金給付
- PhD取得後、卒後臨床研修も可能
- 優れた研究実績をあげた方を、特任助教に採用(条件あり)

医学部

1年次 1年次カリキュラム

2年次 2年次カリキュラム

3年次 3年次カリキュラム

4年次 4年次カリキュラム

5年次 5年次カリキュラム

全学教育

医学専門教育

大学院教育

一般医学生

6年次カリキュラム

6年次カリキュラム

研究者養成プログラム
(大学院共通コア)

選考

8月実施の大学院博士課程入試

MD-PhDコース
(年5名限度)

○ 現行の選択実習の枠を基本に基礎医学系教室において研究(大学院共通コア科目の修学前履修を含みます)

○ (特別)選考によって大学院へ正式に進学

○ 進学要件は6年次に大学院共通コア科目および大学院共通授業科目(2単位まで)の聴講(修学前履修)を推奨

○ 3年間の短縮修了制度を推奨

奨学金授与

医学部医学科卒業要件を充足

国家試験受験資格

6年次カリキュラム

7年次

8年次

9年次

10年次

大学院3年間のプログラム
(計4年間の研究)

医学院修了要件を充足

PhD学位

特任助教へ採用も可能(条件あり)

卒後臨床研修

一步早く

臨床志向型研究者へ
研究志向型医師へ

CLARCプログラム
CLinic And Research Combination

CLARCプログラムは、**臨床研修2年目に大学院に入学し、臨床研修と大学院での学修を並行して行えるプログラム**です。

あくまで臨床研修を主体とし、平日の17時以降に大学院の講義・研究指導を受けます。

このプログラムを選択するためには北海道大学病院の卒後研修プログラムのうち、2年目に北海道大学病院に在籍する研修コースを選択します。

地域医療など大学病院外で研修する期間は一時大学院での履修を中断できるので、安心して研修に従事できます(研修科との調整が必要となります)。また、基礎系教室の教員も指導教員として選択できます。

医学部6年次

医学部医学科

初期臨床研修2年目に北大病院に在籍するコースを選択

医師国家試験

博士課程願書提出：所属教室の決定

初期臨床研修

初期臨床研修2年目から博士課程に入学

初期研修

CLARC

大学院博士課程 CLARCプログラム

大学院博士課程 (基礎医学系)

大学院博士課程 (臨床医学系)

大学院博士課程 (基礎医学系)

臨床志向型研究者
研究志向型医師
専門医※・医学研究者・教育者 など

※専門医になるためには専門研修を修了する必要があります。

卒後1年次

卒後2年次

卒後3年次

卒後4年次

卒後5年次

卒後6年次以降

MD-PhDコース在籍者

自分の問いを見つけるための時間

私はMD-PhDコースに所属し遺伝子病制御研究所 がん制御学分野(園下将大 教授)にて基礎研究に従事しています。

このコースを選択したきっかけはがんに代表される疾患を通じて生命に普遍的な現象を見出し、その知見を臨床に還元したいと思ったからです。所属研究室では、がんの新規治療法開発を目指して、複数の研究ツールを相補的に活用しています。特に、遺伝学の分野で長い研究史のあるショウジョウバエを用いた個体レベルの解析が特長です。

研究技法の発達により分子レベルの詳細な解析ができるようになった一方で、個体、あるいは集団レベルの表現型とどのように結びつけていくかという課題が残されていると感じています。このような表現型は臨床医学の中にヒントがたくさんありますから、医学部での経験が活きてくるところです。

研究に限った話ではありませんが自分なりの問いを立てることはとても重要です。私自身、その問いを模索しています。新しいことに挑戦すると上手くいかないことがたくさんありますが、挑戦すること自体のハードルが高いとなかなか成功まで辿り着けません。本コースは様々な面で手厚くサポートしていただけるので、腰を据えて自分の問いに向き合うことができます。

北海道大学大学院医学院
博士課程3年
がん制御学教室

畑 宗一郎 さん

CLARCプログラム在籍者

研究と臨床研修の両立

学部生の時に基礎系の研究室でアルバイトをしていた私にとって、卒業後の進路選択は非常に悩ましく、研究と臨床研修を同時に行えるCLARCプログラムは魅力的な選択肢でした。初期臨床研修医として1年目は国立函館医療センター、2年目は北海道大学病院にて勤務し、臨床の立場から見た基礎研究に求められる役割について多くを学びました。初期研修2年目には並行して大学院講義を受講しましたが、各診療科の先生方のご理解とご協力のもと無事に修了することができました。

現在は腫瘍病理学教室にて大学院生兼病理専攻医として基礎研究と診断業務に従事しています。バイオインフォマティクスを駆使して膠芽腫に関する研究を進めつつ、トロント大学との共同研究も行う傍らで、病理診断科専攻医として手稲溪仁会病院と札幌東徳洲会病院にて様々な症例の診断に携わらせていただいております。

臨床研修段階から研究を行うことは決して欲張りなことではなく、北海道大学においては現実的な選択肢の一つです。CLARCプログラムに興味のある方は、所属予定の研究室と診療科にご相談ください。

北海道大学大学院医学院
博士課程3年
腫瘍病理学教室

桑原 傑さん



広大な北大キャンパスのほぼ中央に位置する医学部。
豊かな自然に囲まれた環境の中、
医療人としての第一歩を踏み出すための
6年間がここから始まります。



Access

敷地内のご案内

北13条門からイチョウ並木を通り、T字路を右折。噴水のあるロータリーが目印です。管理棟に受付がありますのでお問い合わせください。

交通のご案内

- 〈JR線〉札幌駅下車 徒歩約20分
- 〈地下鉄南北線〉
- 北12条駅下車 徒歩約10分、北18条駅下車 徒歩約10分
- 〈地下鉄東豊線〉北13条東駅下車 徒歩約15分
- 〈中央バス 屯田線01、04〉
- 北大病院前下車 徒歩約10分



北海道大学
医学部医学科

医学部医学科

TEL. 011-716-2111 (北海道大学代表)

FAX. 011-717-5286

URL <https://www.med.hokudai.ac.jp/sch-med/>



北大医学部

检索